

---

米国 Continental Structural Plastics社の買収と  
自動車向け複合材料製品事業の展開

---

**帝人株式会社**

**2016年9月13日**

# 1. プロジェクトの位置付け

## 【修正中期計画(14年11月公表)のポイント】

◆構造改革：課題事業の抜本的改革の断行 ⇒ 概ね予定通り進捗

収益改善効果：175億円／年、一時損失：440億円

◆収益目標：営業利益500億円、当期利益ROE 8%

⇒ 2015年度に1年前倒しで達成

◆発展戦略：ソリューション提供の実現に向けた重点資源投入

投資額：1,000億円(2015～2016年度累計)

プロジェクト：高機能複合材料、先端医療材料に加え、事業間融合領域\*  
を中心に複数の新規プロジェクトの事業化を目指す

\* 素材、ヘルスケア、IT事業の融合



長期ビジョン「ソリューション提供型事業体への進化」への布石

# 1. プロジェクトの位置付け

## 【発展戦略のコンセプト】 複合化／融合による新たな顧客価値の創出

- **高機能材料による新たな価値・ソリューションの提供**  
 ー 素材の組み合わせや技術開発によって、これまで困難であった機能を実現する
- “予防／健康寿命延伸”領域のニーズへの関わり  
 ー これまでの診断・治療領域に留まらず、人の健康に対する貢献を追求する
- 顧客の使用価値の追求  
 ー 単なる「モノ」の提供でなく、「モノ」と「サービス」を組み合わせ提供する

## 【素材系ソリューションイメージ】



## 2. 自動車向け複合材料への取り組み

基盤技術の確立

量産化へ向けた実証／技術の幅出し

マルチマテリアル化への適応

◆御殿場に複合材料開発センター開設

◆熱可塑性CFRP\*1分成形技術を確立

◆米国・ゼネラルモーターズ社との共同開発契約締結

◆米国ミシガンに複合材料用途開発センター開設

◆松山に熱可塑性CFRP量産パイロットプラント新設

◆ゼネラルモーターズ社より材料認定取得

◆プリフォーム\*\*自動製造プロセス(PvP)  
の開発

◆高速硬化プリプレグの開発

熱硬化性CFRPの一貫生産体制を構築(ドイツ)◆

ISO/TS 16949の認証を取得◆

\* Carbon Fiber Reinforced Plastic(炭素繊維複合材料)

\*\*金型に合わせて形成した炭素繊維シート

★CSPを子会社化

2008年

2011年

2014年

2017年

### 3. Continental Structural Plasticsの概要

会社名	Continental Structural Plastics Holdings Corporation (以下、CSP社)
設立	1969年
拠点	本社・開発拠点：米国ミシガン州 オーバーンヒルズ 生産拠点：米国10拠点、メキシコ2拠点、フランス、中国
売上高	634百万米ドル (2015年12月期)
従業員数	約3,200名
事業内容	自動車向け複合材料／部品の設計・成形・加工
主な保有技術	シート・モールディング・コンパウンド(SMC) 樹脂に硬化剤や増粘剤などを混合したペーストをガラス繊維などに含浸させたシートを金型で加圧加熱して成形する製法 特長：優れた生産性、表面性、寸法精度、品質安定性

<p>特長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 熱硬化性複合材料分野のマーケットリーダー</li> <li>• SMCを用いた自動車部品でのグローバル最大手</li> <li>• 卓越した技術力によって軽量・高外観部材を多くの自動車メーカーへ提供</li> </ul>
<p>主な製品</p>	<p>ガラス繊維複合材料(GFRP)を用いた軽量・美しい外観部品</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>フード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フェンダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>フード</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>トランクリッド</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>テールゲート</p> </div> </div>
<p>主要顧客</p>	<p>北米を中心とした多くの自動車・トラックメーカー</p>

## 4. 買収の狙い

### 【今後の事業環境と、それに対するソリューション】

マクロトレンド	各国の環境規制強化(CO <sub>2</sub> 排出量、燃費)	
自動車メーカーのニーズ	<b>【環境負荷低減】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>車体軽量化</b></li> <li>・駆動源変更(電気、水素)</li> <li>・タイヤの転がり抵抗低減</li> <li>・車体の空力特性向上、他</li> </ul>	<b>【コストダウン】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部品コスト削減</li> <li>・<b>製造プロセスコスト削減</b></li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>・リサイクル技術の確立</b></p>

GFRP、CFRPなどの高機能複合材料により、

- 「**車体部品の軽量化**」「**部品点数の削減**」「**リサイクル性の向上**」に加え、
- 「**従来部品を超える付加価値**」を提供

高い衝突強度、衝突エネルギー吸収性、優れた意匠性、等

## 【買収によるシナジー】



- ・ ガラス繊維強化複合材料(GFRP)を中心とした熱硬化性複合材料技術（特に卓越した軽量高外観部品製造技術）
- ・ 自動車部品設計～生産技術・品質管理・ノウハウ
- ・ 世界の主要自動車メーカーへの供給実績と信頼関係

TEIJIN

- ・ 炭素繊維(CF)および炭素繊維強化複合材料(CFRP)技術
- ・ 熱可塑性CFRP(Sereebo®)の1分成形技術
- ・ 多様な高機能材料や長年に亘り蓄積された高分子技術
- ・ グループが有するグローバルネットワーク

短中期：自動車の外板部品(主にGFRP)、構造材(主にCFRP)両面に渡る軽量化への貢献

中長期：マルチマテリアル化に対応したハイブリッド商品開発力の強化

自動車向け「複合材料製品事業のプラットフォーム」構築

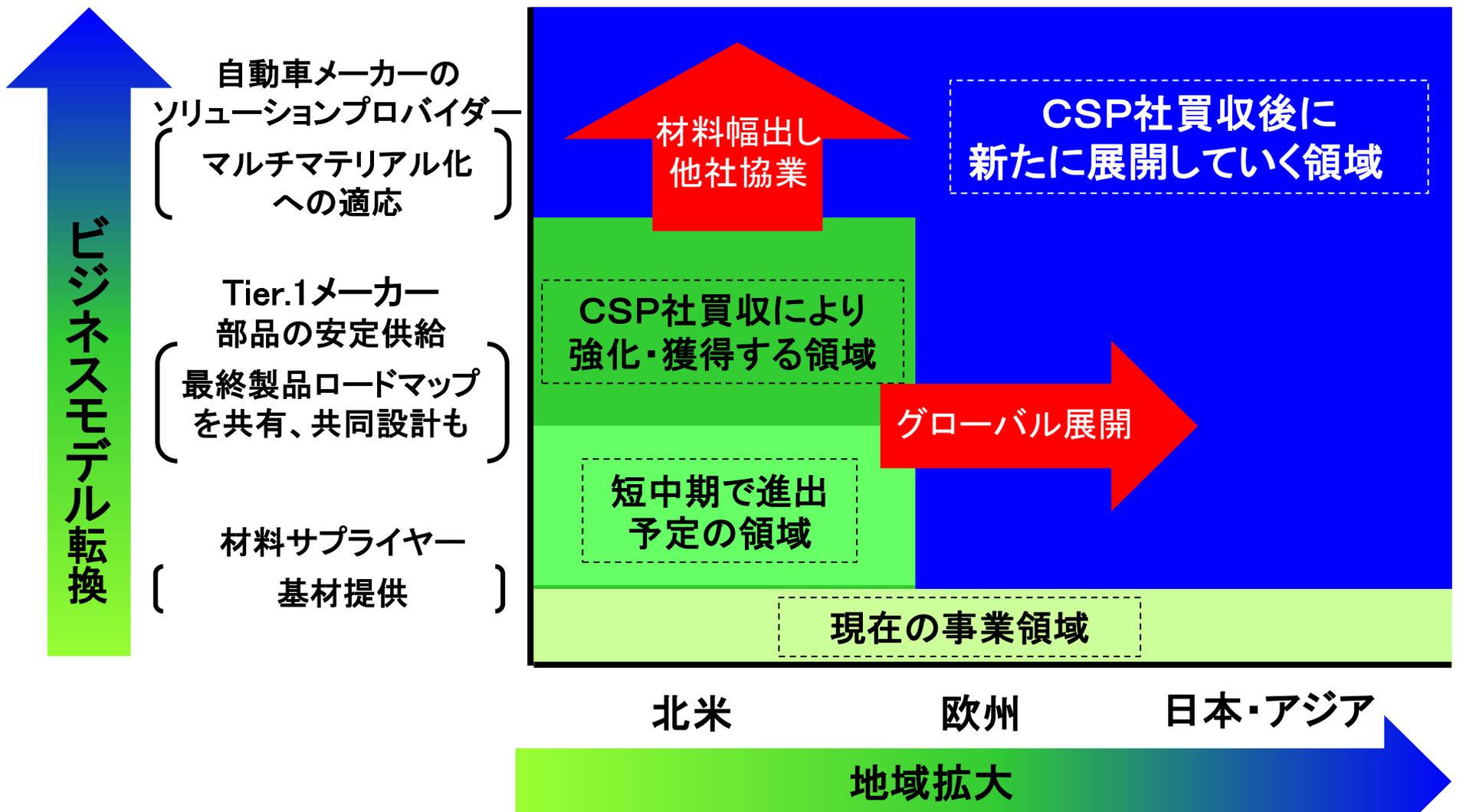
# 【量産自動車向け複合材料 適用イメージ】

	Glass Fiber	Carbon Fiber	
	熱硬化		熱可塑
	GF-SMC 	CF-SMC  	Sereebo® 
外装部品	高外観 (ボディパネル、ドアパネル)	(将来展開)	
準構造部品	高剛性 (バッテリートレイ、トランクリッド)	軽量・高剛性 (バッテリートレイ、バックドアインナー)	軽量・高強度・高剛性 (ドアインナー、フロア)
構造部品		軽量・中強度 (ボディフレーム、Bピラー)	軽量・高強度 (Bピラー、サイドシル)
エネルギー吸収部品		軽量・中強度 (バンパービーム、クラッシュボックス)	軽量・高強度 (クラッシュボックス)

一層の車体軽量化に向け、適用車種拡大

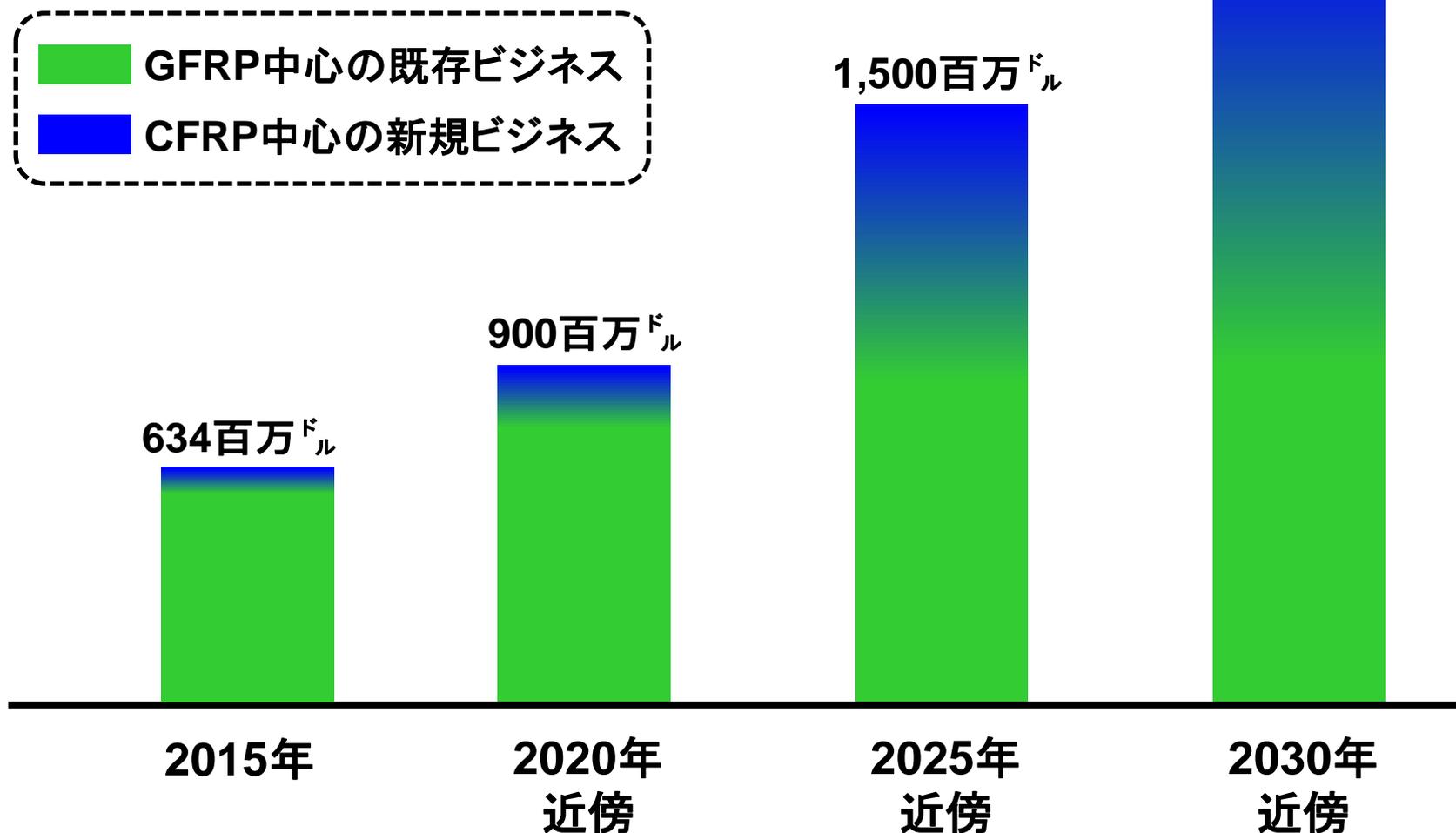
# 5. 事業展開イメージ

自動車メーカーの要求を的確に把握し、高機能材料の特長を活かした部品提案を行う



## 6. 収益イメージ

### <自動車向け複合材料事業の売上高>



## 7. 買収概要

➤ 買収対価：825百万米ドル

\* なお、最終的な取得価額は株式譲渡契約に定める価格調整を実施した金額となる見込み

➤ 実施時期：2016年12月(予定)

➤ 出資元：Teijin Holdings USA Inc, (米国持株会社)

➤ 資金調達：手元資金および新規調達で充当(予定)

## 見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

### ① 競合・市況変動にかかもの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

### ② 製品の品質にかかもの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ③ 研究開発にかかもの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、そうした研究開発の成果が目標から大きく乖離した場合には、業績等に影響を及ぼす可能性があります。

### ④ 海外活動にかかもの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

### ⑤ 事故・災害にかかもの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。